

①事業の基礎情報

事業名	市道港線整備事業		担当部・グループ名	都市政策部 都市整備グループ							
実施期間	平成 26 年度～平成 29 年度		担当 GL 氏名	田中 秀彦							
新規・継続の別	継続事業		電話番号(内線)	52-1111(内線 275)							
総合計画 (基本計画) 体系	個別目標	(8)ハーモニーを奏でる快適な都市空間をつくります	予算・事業上の 予 算 書 上 の 予 算 ・ 事 業 名	款	8款 土木費						
	こんなことに取り組みます	安全・安心・便利に移動できるよう道路を整えるとともに、公共交通の利用も促進します。		項	2項 道路橋りょう費						
				目	1目 生活道路新設改良費						
	事業名	2 市道新設改良事業		総合戦略	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない						
みんなで目指すまちづくり 指標名	暮らしやすい環境が形成されていると感じている人の割合										
	現状値 (H25)	67	実績値 (H26)	64	実績値 (H27)	63	実績値 (H28)		目標値 (H29)	72	(単位) %

②事業の概要

目的 (何をどうするために)	★市道港線の田戸町地内の見通しの悪い2区間を先行して、視距改良と歩道設置を行う。		
	★市道港線沿線住民が、道路を安全に通行できる道路の改良を行う。		
対象(誰・何を対象に)	市道港線を利用する市民	対象の数量	46,373 人
最終目標 (最終的に何がどうなれば達成か)	☆市道港線の田戸町地内において、歩道設置及び道路拡幅を実施し、道路幅 12mの道路とすることにより、市道港線を利用する市民(歩行者)の安全を確保することができる。		

③事業にかかる事業費概要

平成 27 年度 (当初予算額)		決算額	主な内容		
事業費総額 (千円)		47,576	56,152	・土地購入費 56,152 千円	
財源内訳	一般財源	26,076	34,652		
	特定財源	国・県支出金	21,500		21,500
		その他	—		—
補助事業・単独事業の別		補助事業	補助事業		



④平成 27 年度の実施内容（目指す姿の実現に向けて、どんなことに取り組んできたのかを整理する）

	何を・どのように・どうした ※箇条書きで記載する	いつ(年月)	アウトプット
実施内容	◆横浜橋南工区の地権者と用地・物件補償の交渉を実施	通年	継続して進める
	◆道路改良工事の管理監督・地元調整	通年	継続して進める
	◆愛知県へ補助金申請並びに要望を行った。	通年	継続して進める
参画・協働・ 情報共有の工夫	★工事の情報について、地元への回覧を実施し、現場代理人による地権者への挨拶実施。 ★工事現場へ出向き、周辺住民のかたとの意見交換。		
進捗状況	計画に沿って、着実に事業用地確保が進んでいる。		
実施内容に 対する成果 (事業の自己評価)	☆横浜橋南工区の事業用地が進み、区間の北側について歩道設置工事の目処が立った。 ☆だるま窯付近の工事が完了し、道路の見通しが改善された。		



⑤課題と今後の取組みの方向性（平成 27 年度を振り返り、課題を抽出し、今後の取組みの考え方を整理する）

課題	今後の取組みの方向性
<u>(1) 事業用地の取得</u> ・粘り強く、地権者との交渉を進めることが重要である。	・円滑に用地取得を進めて行く。
<u>(2) 研屋交差点の改良工事</u> ・だるま窯付近の工事が完了して、交差点までの区間の早期事業の要望があがった。	・測量や設計を今後計画し、事業計画をたてて行く。



⑥課題解決に向けた平成 28 年度の具体的なアクション（案）

	何を・どのように・どうする ※箇条書きで記載する	いつまでに (年月)
計画(案)	◆横浜橋南工区地権者との用地交渉を進める。	H29.3
	◆愛知県へ補助金の申請並びに要望を進める。	H29.3
	◆田戸町五丁目 1 番地付近の区間から交差点までの歩道設置に着手する。(調査測量等)	H29.3
参画・協働・ 情報共有の工夫	☆用地取得に関係する地権者と交渉を進めて行く。	

特記事項	事業用地取得を進める担当職員の育成が重要課題である。
------	----------------------------